

報告日 令和6年11月8日
報告回数 2日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	深谷市役所			代表者名	小島 進
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部 ICT推進室	連絡先電話番号	048-574-8563
担当者役職	主査	担当者氏名	長谷川 美子	連絡先E-mail	
住所	366-8501 埼玉県深谷市仲町11番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	生成AI活用研修
概要	業務における生成AI活用に向けて、生成AIの基礎概要や業務における生成AI活用の進め方や留意点のポイントなど、業務における生成AI活用の基礎知識・基礎スキルの習得を目的とした実践的な研修を実施いただきたい。		
支援を求める分野	生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年11月8日	講演(実地)	13時00分	17時00分	15
				活動時間（分）	225
2-2. 派遣場所	会場名	埼玉県深谷市役所	最寄駅	JR深谷駅	
	所在地	埼玉県深谷市仲町11番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	座学講義とワークショップを組み合わせた講演で、実際に生成AIを操作する体験を通じ、参加したICT推進員が生成AIの活用を自身の業務で活用するイメージをつかむことができました。 参加者のアンケート回答からも満足度が高く、研修の目的を達することができたため。
アドバイザーへの要望事項	大変満足な研修内容のため、要望事項はありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	51人
	属性	自治体職員	住民
	人数	51	
		企業・団体	その他(学生など)
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）		
	生成AI活用の基礎と実践を学び、生成AIツールの操作体験を通じて、業務改善と住民サービス向上を目指し、率先して生成AIを活用すること。		
	支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）		
	生成AIを活用するための基本的な考え方を学び、日常の業務の中で活用場面を具体的にイメージすることができるようになり、ICT推進員として、課内へ生成AIの活用を推進していくこと。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 生成AI活用の基礎と実践(座学講座) 生成AIツールの操作体験を通じたワークショップ 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 生成AIに対する基礎的な考え方を学ぶことができました。 生成AIツールの体験を通じて、具体的な活用場面をイメージすることができました。 グループワークを通じ、生成AIによる体験を共有することができました。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 具体的な成果物は特にないが、生成AIの基礎と実践を学ぶとともに生成AIツールの操作体験を通じて、自らの業務プロセスの見直しや改善に取り組む姿勢を育むことができました。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果について記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由を記入下さい。 アンケート結果は別添PDFを参照 生成AIツールの体験を通じ、業務の改善が見込めるとの回答や、生成AIを活用する上での具体的な支援を確認することでできました。今後のツール導入の際に今回のアンケート結果を活用します。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある ICT推進員研修を通じ、生成AIへの知識を深め、生成AIへの取り組みを検証。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	研修を受けたICT推進員を中心に、業務の中で生成AIが活用され、業務負担を軽減し、住民サービスが向上していくこと。	
5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
<p>なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい</p>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		